



姫騎兵の

淫猥なる日々

牝色

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

……全ては、あの日。

私こと「ライダー」のバイト先にフラリと現れた、あの「長沼鋭造（ナガヌマ・エイゾー）」という男。

この男に出会った事が全ての始まりであり、終わりであった。

その日、私は本来帰るべき主たちの下ではなく、エイゾーによって、一晩中相手をさせられる事になった。

——いや、それは最初のうちだけだった。

最後の最後まで、自らの主を想い続けて要られたなら決してこのような結果には、ならなかったはず……。しかし、もう私には、帰る家は無く。

今はただ、ひたすらに己の内から沸きあがる欲情を……火照りを鎮める為に、日々、淫らな行為に耽り続けている……でも、それでも時折想い出す……。

あの日、あの時こそ、最後の希望が在ったのかも知れないと——。

トーン!!!  
えー、テストス…  
んー…あーっ……



えーっ、本日は  
お日柄も良く、  
お忙しい中、皆様には  
この船にお集まり  
いただき…真に

ありがとうございます  
今回の催しに  
関しまして、皆様の  
ご助力あっての

おいおい、我々は  
君のゴマすりを聞きに  
来たわけじゃないんだ  
早く始めたまえ。



ホンマ、皆様には  
かないませんなあ(笑)  
では、早速登場して  
もらいまひよ。

彼女を身請けして  
1週間…来る日も  
来る日もシーツの上で  
みっちり啼かせ続けて  
やりました

くっ…好き勝手  
言ってくれますね  
エイゾーっ!!

カッ  
カッ  
カッ

ようやく、本日  
パトロンの皆様方の前に  
お披露目出来る運びと  
なりました!!

では皆様拍手で  
お迎えください!  
本日の主役にして  
メインディッシュ—

この1週間…好き放題  
肢体を弄られ続けた  
おかげで…あの媚薬に  
対する抵抗力も身に  
付け始めた…

後はエイゾーの隙を  
見つけて…なんとか  
逃げ出す算段を  
立てられそう  
だったのに……

カッ  
カッ  
カッ

サーヴァント  
英雄姫・  
ライダーっ!!

さあさあ、ライダーはん  
ここからが本番や…  
打ち合わせ通りに  
挨拶するんやで♪

まさか…このような場所で  
こんな破廉恥な姿を  
晒される羽目になるとは…

本来の私なら…今すぐ  
この会場にいる人間を  
皆殺しにしても  
逃げたいくらいなのに

わ…わかっています  
一々言わないで  
下さいっ!!

しかし…ここにいる  
人間以外にも  
エイゾーに協力してる  
者がいるという以上  
逆らうわけには

こんな事をするのも  
全ては…救…

そして…十郎のため—

みつ…皆様…  
ご来場…いつ…  
いただき…

あ…ありがとうございます…  
ごぞいます…  
本日はどうか…  
心行くまで…

けっ…決して、己の快楽の  
ためなどでは…無いのです…  
— そう…決して…

♡おっ…♡

かあ

こ…このライダーの  
痴態を…こ…こ堪能  
下さいませ—

オオオオオオ

ほほう、これは見事な  
仕上がり具合ですなあ。  
下着から透けてる  
ほんのりした桜色が  
何とも絶品ですな。

どうやら、パイパンの  
ようですが、これは  
元からですか、  
エイゾー殿？

いやいや、むしろ  
ライダーはんは  
毛は多いほうでして、

そやから、儂が  
毎日、そりゃあ丁寧に  
剃毛してますねん。

プルプル…

そつ…そんな事まで  
今言わなくても  
いいでしょうっ!!

かあ ああ♡

しかし、この見事な濡れ具合からすると、すでに彼女は感じていられるのかね？

ええ、そりやもう四六時中ずうつと発情してますさかい。いつでも召し上がれまっせ♪

ざわ... ざわ...  
ほなどれだけイヤらしい身体かちよつとした余興をお目にかけてまひよ。

—っ...そんなっ！こんな体にしたのは貴方でしょうっ！エイゾーっ！！

今から、僕の手で30秒もかけずに皆様の前で絶頂させてみせますわ！！

ほ...本当ですか私か耐えたり...

どうや？悪い話やないやろ？

なっ...なにをバカな事をっ！！

しやあないなあ、ほなここで一つチャンスあげようやないか。

この30秒間、我慢できたら、ライダーはんを家に帰したるわ。

まっ...またそんな事言っつて騙さしや...

もちろん、土地の権利書やその他、色々な借金とか今回の後始末も無条件で付けたるでえ♪

なっ！！

ああ、約束はちゃんと守るで。もつともライダーはんが...

最後まで我慢できたらなあっ！！

!?

!?「これ...いじめる  
娯楽じゃないっ!?

そんなっ...も...もつと  
凄いのなんてっ!? ああっ  
そ...そんなに塗りつけられ  
たらああああっ

でっ...でもっ これを我慢すえ  
すればっ...が...がまんしてえ...

おおおや、まだ10秒も  
経ってないのに、もう  
絶頂されましたか。もう少し  
粘るかと思いましたが...

確かに、これはまた  
随分と卑猥な身体をして  
おられますなあ...うむ、  
先行きが愉しみだ♪

あかんがな、  
こんな簡単に  
終わってもうたら

お客様に申し訳が  
たたんやないか。

いつ...いつたっ♡ イッて  
しまいましたあああっ♡  
ナ...桜あ...十郎おおっ...♡  
すいません...こんなあつナリい...  
はああっ♡まっ...またくるっ!!!♡

ほな今度は自分から  
おねだりするのを  
30分間我慢できたら、  
さっきの約束守ったる。

そうそう、オ○ソコ責めは  
次からは避けたるわ。  
せやないと、すぐおねだり  
するやろうしなあ。

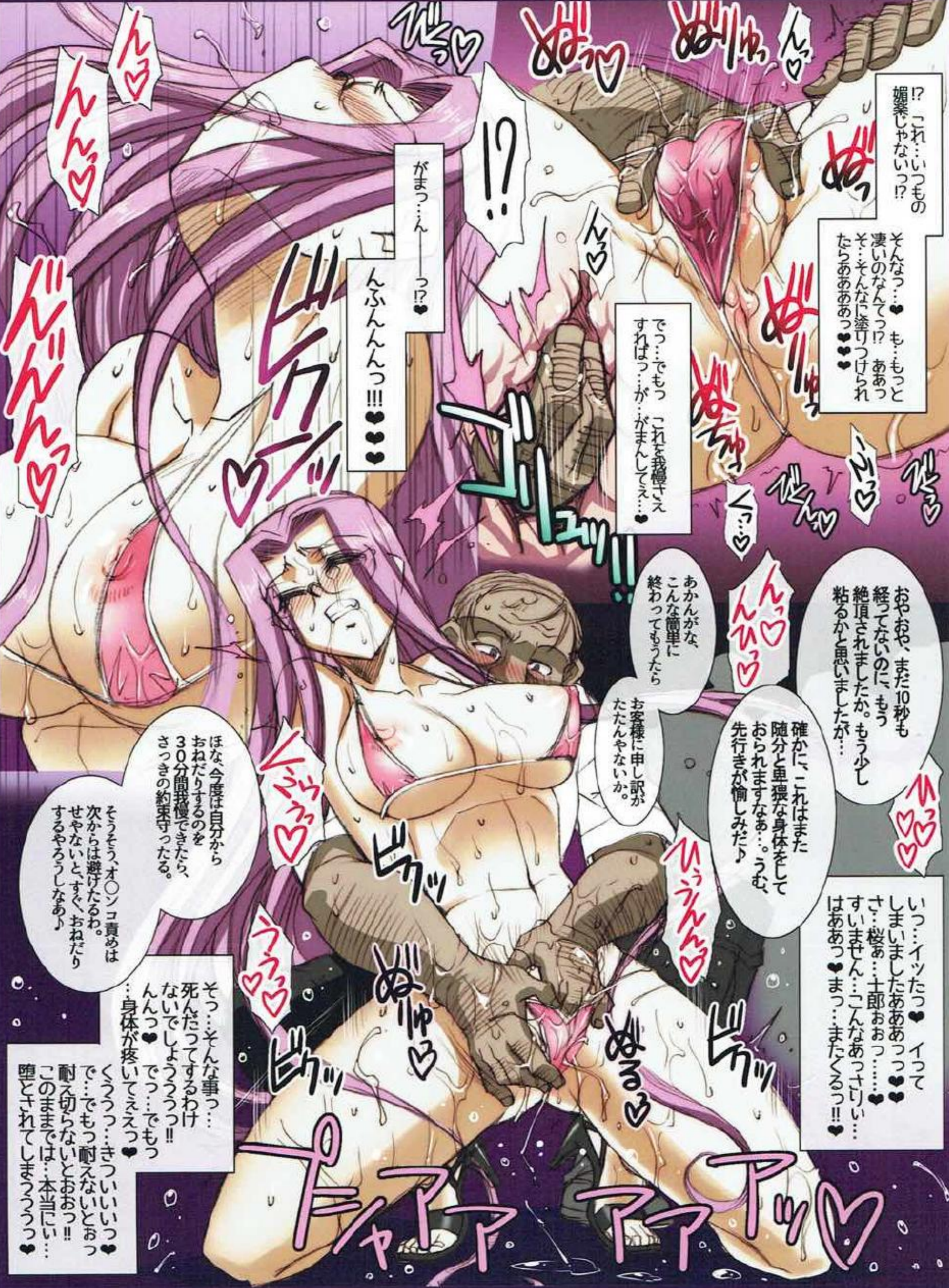
そっ...そんな事っ...  
死んだつてするわけ  
ないでしようっつ!!  
んんっ♡ でっ...でもっ  
...身体が疼いてええっ♡

くっつっ...きついいいっ♡  
で...でもっ耐えないとおっ  
耐え切らないとおあつ!!  
このままでは...本当にい...  
墮とされてしまっつっ♡

がまっ...ん...っ!?♡

んふんんんっ!!!♡♡♡

!!



どうや？  
尻タブの裏側とか

普段は余り触らん  
場所はこつこつう  
効くやろ？

下乳の辺りとか  
胸の谷間とかも  
ええ按配やろ？

このまま、随分ちゆう  
隙間を余す所無く  
塗りたくつたる  
でええええつ！！

おつ、ようやく  
5分経過ですか  
まだまだ先は  
長いですねあ

そうそう、  
オマ○コは弄りへん  
言うたけど

その、<sup>きわ</sup>際まぎわの部分は  
よく可愛かつたる  
さかいなあ……

そつ……そんなつ……  
またたつたの5分！  
30分がこんな長い  
なんてえええつ

終わつて！！ は……早く  
終わつて下さいいっ  
じやないとつ……また  
我慢できなくなるっ

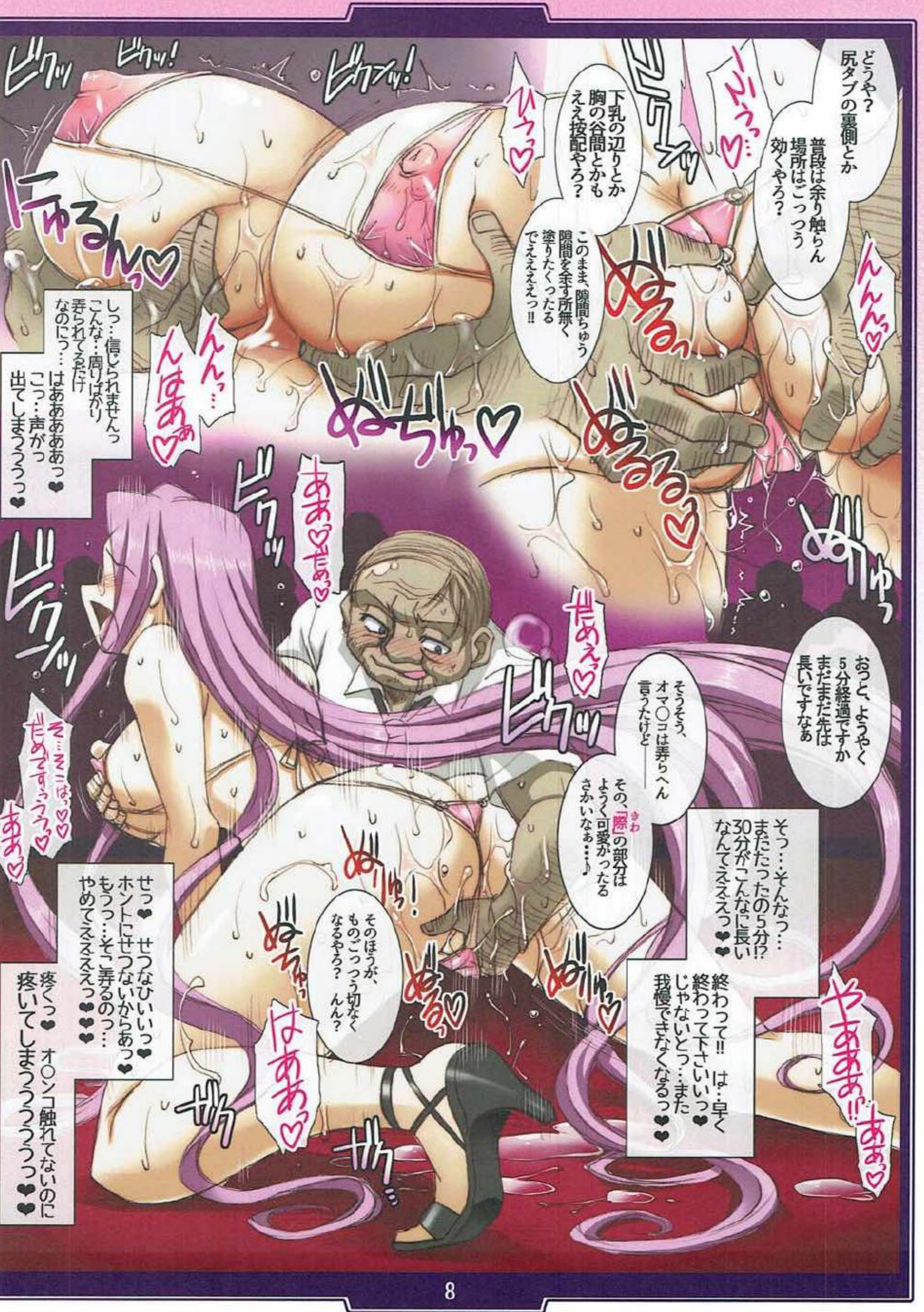
そのほうが、  
ものこつこつ切なく  
なるやろ？ んん？

せつ……せつなひいっ  
ホントにせつないからあつ  
もつ……そつ弄るのつ……  
やめてええええつ

疼くっ……オ○ンに触れてないの  
疼いてしまふこつこつこつこつ

しつ……信じられせんっ  
こんな……周りはかり  
弄られてるだけ  
なのにっ……  
はあああああ  
こつ……声がっ  
こつ……こつこつこつ

あつ……あつ……あつ……  
あつ……あつ……あつ……  
あつ……あつ……あつ……





おつとこも  
たっぷり舐めて  
やうとなあ...

んーっ、ええ味や  
甘露甘露♪

わ...臨っ!? そんな  
そんな奴なんが...

う...臨っ!? 臨でしようっ!?  
こんな場所を感じたります  
はずないいいっ!!  
ないのいいいいっ!!

もう、鼻にかかった  
甘ったるい声しか  
出えへん様になつて  
きたなあ。もう限界かな、  
ライダーちゃん?

ほれ...一人勝手に  
よがっとりんで  
皆様にも、よく  
観てもらわんと♪

なにせ、今度我慢できへん  
かったら、罰としてこの船の  
お客様全員を相手にして  
もらうんやからなあ

な...!!

なんやあ...、罰の事  
考えたら辛抱たまらん  
ようになつたんか?

オマ○コが随分  
ぷっくりとして  
きおつたでえ

ハズレっ  
♡♡♡

いつ...今なんてっ!? 全員?  
全員すつて!? そんな大勢  
相手に出来るわけ...

あつ...でも...でも...  
もも...我儘でないっ  
このまま...いいっ...  
非道い裏切られてしまつたっ

ほな、そろそろ...  
トドメといくかい  
なあっ!!

は...あ...♡♡♡

あ...♡♡♡

あ...♡♡♡

あ...♡♡♡

!! ち...違つ  
そんなハカな事  
+ されたらあつ

絶対...戻れなく...なるっ  
なつてしまつたっ...  
あの家に帰れなく  
なるっつらつらっ

げ...限界...  
確かに...もも...  
でせ...でも...  
た...た...  
た...た...  
た...た...

♡♡♡

あ...♡♡♡

♡♡♡

儂のありつたつけの  
想い!! 受け止め  
取ったってやああっ♡

キッ…キスっ!? それも  
この匂い…さっきの媚薬と  
一緒につ!? こ…こんな  
今…飲まされたら

いつ…いやああつ!!  
こんな臭くて汚いキスで  
いつ…イカされたくなんか  
ないのにいいいつ!!♡♡

感じたくないいいいつ♡  
舌がっ…舌がああつ♡♡  
はああつ♡ 口内が…と…  
融けてしまっ…もつだめつ♡

我慢できませんんっ♡  
いつ…イクっ♡  
イカされてしまっっ♡

はあああああああつ♡  
イツ♡ イツてるっつ♡  
私…エロ酷いキスなんかで  
イカされてしまってるっつ♡  
ああつ桜っ…すいませんんっ♡

ははは、まさかキスで  
イカされてしまうとは、  
こいつは飛んだ  
淑女ですな。

さて、我々も  
しますか。なにせ  
全員をお相手して  
くれるそうですし。

しかし、これだけの  
人数、今夜一晩だけで  
回せますかな?

なに、長い船旅です。  
一晩と云わず、一月でも  
貰いましょうよ。

や…やはり私は…もう…  
貴方達の元に…帰れそうには  
ありません

も…もう無理っ♡無理っ  
ですうっつ♡ 士郎…桜っ  
ごめんなさいいいいつ♡♡

——結局、私は抗うどころか、ただ為すがままに己の情欲を貪り尽した……。

エイゾーの接吻を喰らった後のことは

全く記憶にはなかったが、親切にもあの出来事を映像として記録しておいた者がいたそうだった。

全くもって、憎憎しい限りであると同時にどこか期待している自分がいる事に気付いていた……。

その映像には、自らを一匹の牝として、ただひたすらに、その身を

慰め、弄び、犯し続ける獣がいた。

……誰も触れてはいない、ただ自分で自分の身を喰らう牝がそこにいた……。

あれが誰であるかは、分かり切っている筈なのに、それを認識できないでいた

……違いますね。ただ認めたくなかったのでしょう。あれが……あのような牝犬が、私なのだと……。

うーむ、やはりライダーさんはこの姿でないとい

いや、全くですな。

うう...

この姿を視ると殺されてもおかしくないと云うのに...それを思うとより一層興奮してしまいますな。

...まさか...この姿で...こんな大勢の前で更なる痴態を演じさせよつとは...エイソ〜!...ゆ...許せせんつ...いつか必ず...必ず殺しますつ!!

で...でも...どつして先ほどから私の身体は...疼きが...んんつ...くうつ...う...こんなに疼きがあ...激しくなつてえ...んんんつ...♡♡♡

まさか...私がこんな端ない女になつて...しまつてる...なんて...それも姉様達との大切なこの服を着て欲情してしまつなんて

では、早速いただきますね!

まつ...待つて下さいっやはりの姿でだけはあめっ♡ま...まつて

あ!!

んんん♡

ああ

はああ♡

ああ♡

ぢゅるぢゅる

はあああああ♡♡♡  
ちゅっ♡♡乳首いっ♡♡  
乳首っ…そ…そんなに  
意立って吸わないでっ…

し…舌でじゅっ♡♡♡  
舌が…ないでえええっ♡♡  
いっ♡♡いやあああ♡♡  
うそっ!? 嘘ですっ!!  
こんなの嘘ですっ♡♡♡!

こんなの…これしきの事で…  
乳首弄られてるだけでえっ♡♡  
またイカされそうになるっ!?  
なってるっ!?♡♡ なって  
しまってるっ♡♡♡!!

んっ♡  
くっ♡♡

んっ♡♡♡

んっ♡♡

んっ♡♡

ぢゅるぢゅる

んっ♡♡

ぢゅる♡

ぢゅる♡♡♡

だっ…だめえっ!!  
ホントにこれ以上っ  
吸わないで下さいっ♡♡

そんな…両方って  
いやあああ♡♡  
あっ…甘噛み  
しちや…だめええ  
えええええっ!!♡♡

おっと…片方だけでは  
可哀想ですな。  
こゝは両方、可愛がって  
やらねば♡

じゃ…じゃないっ♡♡…  
じゃないっ♡♡おっ♡♡  
ほっ…ホントにこれ以上っ!!  
イってしまっ♡♡♡

ぢゅる♡

ぢゅる♡

ぢゅる♡

おつと…、  
いかんいかん。  
危なく、またイカせる  
ところだった。

あつ…はつ♡

はあつ♡

プルプル

はあ…

はっ♡

では、今の発情した  
ライダーさんのお顔を  
拝見させて頂くかな…

おつと、魔眼は  
無しで頼むよ？

逆らえない

は…♡

は…♡

おやおや、なんだか  
可愛いお顔ですなあ♡

いつもの、凛々しい顔と  
違って、こういう弱々しい  
表情も堪りませんなあ。

じゃあ、素直になった  
ご褒美にまたキスして  
差し上げましょう。  
さあ…お口を開けて…

こつ…こんな奴等に  
好きな様にされていると  
いうのに…どうして…  
どうして私は逆らえないの  
ですか

乳首吸われただけで  
イカされそうになる  
なんて事…あるはずが  
ありません

あつ…危なかつたつ…  
またイカされそうに  
ですつて!? そんな事…

ははっ、こんなにまで  
乳首を尖らせて。

搾ったらミルクが  
吹き出そうですよ？

しつ…失礼な事はかり  
言ってくれますねつ！  
貴方達など私が本気を  
出せば全員塵と化して  
やれるのにつ…

くつ…くうくうつ♡  
乳首がジンジンする…  
こんなにちゅ♡乳首が  
感じるなんて…今まで  
なかったのに…

ビクッ♡

ビクッ

おんおん…

はあ…あ…あつ♡

もつと舌を突き出したまえ。

は…はひ…っ♡

あつ…♡あさましいっ…私…私い…こんな男の言いなりになつてまで…自分を慰めたい…なんてど…どうかしています…本当に…でもお…♡

んー、随分長いキスですなあ。早く代わっていただきたいですぞ。

結構っ!!

まさか、またキスだけで達してしまつたのではないでしょうなあライダーさん?

ふああああつ♡またキスっ!? キスッ…すっ♡凄いいいんっ♡何でえっ!? どつしてええっ♡わ…私っ…見ず知らずの男にこのようなキスだけでえ…っ♡

こんなっ♡キスされてるだけで感じてしまつのですかああつ!? 私っ♡私の身体あああつ♡いったい…ど…どうしてしまつたのおおはおおっ♡

ハハハ、英霊である彼女がこんな程度で二度もイクはずありませんよ。

おやあ? キスだけだといふのに、股の方は随分と大洪水の様子ですぞう?

それもそうですな! いやはや、ライダーさんこれは失礼しました。



んんん♡♡

んんん♡♡

うん♡

んんん♡♡

んんん♡♡

ははははは

ははははは

んんん♡♡

あ…当たり前ですっ  
あのよくな痴態を…  
一度も…に…一度と…

うっ…晒すなうっ…  
あっ♡ある…はずが…  
はああっ♡だ…だめえ♡

いっ♡

こ…これ以上は  
ダメっ♡も…もっ…  
終わって下さいっ…  
じやないと…また…

ああっ…いやああっ  
乳首押し潰さないで  
ええええええっ!!

今っ…そんな事まで  
されてしまったらっ  
ああっ♡だ…ダメえ  
ま…またっ…またあっ♡

いっ♡いっ♡いっ♡

うううっ♡  
あっ♡あっ♡あっ♡  
あっ♡あっ♡あっ♡

またっ…イカされたあっ  
キス…キスだけでええっ♡  
キスだけでイカされて  
しまいましたあああっ♡

やあああっ…オマ○○っ  
キユンってえ…キユンって  
なっちやってるるっ♡  
ダメなのにいっ♡  
感じちゃダメなのにいっ♡

ふうっ…素晴らしい  
舌使だったよ  
ライダーさん。  
危うく私も一緒に  
イってしまっ所  
だったよ。

では、我々もそろそろ  
君の肢体で気持ちよく  
させて頂こうかな。



では、また魔眼封しを  
掛けさせて頂くと  
しましょうか。

流石に裸眼だと、  
いつ間違つて我々が  
石にされるかも知  
れませんが、

ブルブル

さて、ライダーさん。  
貴女がお待ちかねの  
マラですよ。

たつぷりと、  
心行くまで味わつて  
くれたまえ。

し…信じられない…  
こんなモノを…見た  
だけで…こんなに  
胸が高鳴るなんて…

ブルブル

それに何より  
我々の顔と  
チンポの形を

はつきりと覚えて  
いただく必須アイテム  
ですからねえ。

……こんなに  
臭いのにつ…ほ…  
頬張り…たいつて  
思つなんてえ…

……この匂いつ…  
ああ…どうして  
私…こんなに…

……本当に勝手な事ばかり  
言つてくれる……私は  
貴方達の愛玩動物でも…  
まして…性奴隷などでは  
……ない…というのに…

そう…違う…違うはず…  
それなのに…うっ…疼きが  
止まらない…何度達しても  
治まるのは…ホンの一時…  
気付いた時には…また身体が  
戦慄してしまつてる…

400

400

400

400

ほらほら、遠慮せず  
一気に頬ほつてくれて  
構いませんよ？

んっ!? おおっ!  
これはまた良い感触だ。  
この舌使い…なるほど  
素晴らしいっ!!

…んっ…んむっ…  
んぶっ…んっ!  
んっ…んんっ…  
んっ…ふ…  
んん…うっ!!

わっ…私…どうして…  
……こんな醜態な物を啜えて  
……おっ…美味しい…  
……なんてえっ…ああ…

これほど一心不乱に  
貪り尽くすとは、我らが  
女神様は、よほど我が愚息を  
待ち焦れていた様ですな

しかし、自慰行為に  
耽りながらのフェラチオとは  
我々の子種を注いで欲しくて  
堪らないのですかねえ？

そつ…そんな事…  
あるわけないでしょうつ!!  
貴方達の精など…ほ…  
欲しがらるわけ…ないつ…  
ない…のにいつ…ああつ…

…い…嫌なのにつ…  
否定したいのにつ…  
指が止められないつ…  
口…臭いペニス…頬張り  
ながらオナニーするのつ…

いつ…いつもの何倍もつ  
士郎と同衾した時よりつ  
全気持持ち良過ぎてえつ!!  
とつ…止まりませんんつ…

うおっ、もうダメだっ!!  
出るっ!!出るぞおおっ!!

でつ…でてるつ!?!  
口の中に熱い精液つ  
喉の奥にいつばいいいつ

うーむ、つい興奮して  
射精してしまった。

あつ…ああつ

はっ…あつ

はああああつ…く…  
くつさい精液飲まされた  
のにい…あつ…頭の奥が  
もつ…物凄く痺れてるう…  
なんでええええつ!?!

おつと、まだまだ  
休ませんよ。他の者達の  
精液もたつぷり  
飲んでもらわないと

ま…まって…? まだ  
こっちが治まってな

そうそう、テンポ良く  
飲んでいただかないと、  
まだまだ後がたくさん  
支えていますからな

んっ♡んっ♡んっ♡

おっ！おっ！！  
これは良いですなあっ！！  
ぐうっ…す、すぐにでも  
射精しそうになるっ！

そっ…そんなに乱暴に  
ノド犯さないでっ！！  
亀頭押し込まないでえ！！

くっ♡臭いザーメンっ…  
飲ませないでええっ！♡♡

おっと…いかな。  
またしても絶頂させて  
しまいましたか。

そうそうっ！カリ首も  
丁寧に舐めてチンカスも  
残さず食べたまえっ！！

ようしっ、お札にまた沢山  
精液飲ませてやろうっ！！  
君の口で孕むくらい、大量に  
注ぎ込んでやるぞおっ！！

こっ…このままでや  
精液飲んでるだけで  
ま…またイクっ！！  
イカされるっ！！

そっ…そんなのイヤっ…  
イヤああっ！！嫌なのにっ  
本気で嫌なのにいいっ♡♡

…だっ…ダメえええっ♡  
ザーメン臭でっ♡あっ…  
頭っ…真っ白にいっ…  
なるっっっっ！！♡♡

まあ、折角ですし、我々も  
一度休憩しますか。彼女も  
マグロのままでは、魅力が  
半減ですからなあ。

しかし、失神しながらも  
オマ〇コ弄るのを止めない  
とは、これはまた随分と  
淫乱な女神様ですなあ！

ん…これはどうも  
本気でイってしまった  
ようですなあ。



——口内射精での屈辱的な絶頂のまま

失神した拳匂、その股座を自らの指で

浅ましいまでに自慰を繰り返し気を失ったまま

何度も絶頂する淫らで怠惰な牝がそこに居た。

またしても几帳面に記録映像として、失神後の私の姿を1秒たりとも逃さずに捉えていたらしい……。

無意識のまま男達のイチモツを次から次へと

一心不乱に頬張り、心の底から美味そうに

恥垢の一粒すら逃さず丁寧に……

本当に……嫌になるくらい……丁寧に舐り取る……

そんな自分に吐き気がするのと同時に

記憶が無いことを安堵しつつも、物欲しげな自分が

片隅にいる自分に嫌悪し……したかった……

したかったのです……、そ……そのはずなのに……っ

そんな私の頭と違い、身体と心はあのザーメンの味を

どうして覚えていないのか……、そればかりを訴えて

来るかの如く……、私の……お……オマンコはずっと疼いて……、

も……もう我慢の限界を迎えてしまっていたのです——

さて、ライダーさんも  
落ちていたようですし。  
余興再開といきますか。

うむ、良い眺めだ。  
これでようやく  
取って置きの場所を  
愉しめそうですな。

…なっ…なんて痴態を  
晒してしまったのですか  
まさか…口内射精だけで  
失神するまで…い…  
イってしまっただなんて…

あまつさえ…こんな…  
こんな男達の精液を…  
心の底から欲しがって  
しまってるだなんて…  
本当になんて…卑しいので  
しょうか…わ…私は…

はあ…

はあ…

ドゥ  
ドゥ

ドゥ  
ドゥ

ズ  
ズ

ズ  
ズ

…でも…これで  
ようやく…しっ♡子宮に  
沢山…精液を注いで  
貰えるはず…♡

そ…そうすれば…♡この…  
如何し様もない火照りも…  
きつと治まるはず♡…そう  
この火照りさえ静まれば…  
きつと…なんとかなる…

おっと、すみません。  
ちよつと、皆さん  
待って下さいな。

実は、本日は皆様にご  
お願いがありました。な。  
…このライダーはんにも、  
是非とも教えてやって  
欲しい事があるんですわ。

まあ、単刀直入に  
言いますと…今日  
使って欲しい肉穴は  
彼女のオマ○コや  
のうて

こつち  
尻穴のほう  
ですもんっ!!

ちなみに最初に  
塗りたくった媚薬には  
少し細工がありましてな  
子宮に精液を注ぐまで  
発情が止まらんように  
なってますねん♪

なるほど、それで簡単に達して  
いたのか。まあ、当然ですな。  
ライダーさん  
誇り高い姫騎士が、我々の様な  
下賤の手でイキまくるはず  
ありませんからなあ。

そんななにいつぱい  
ぢげないでっ!!  
いやああああっ!!  
みないでえ  
えええっ!!

と…道理で…何時まで  
経ってもこの疼きが  
治まらないはず……

そ…そうとわかれは  
なにごかして

バツ…馬鹿な事  
言わないで下さいっ  
エイゾーっ!!

…で、今回、皆様には、  
このドスケベなケツ穴を  
休む暇なく可愛がって  
やって欲しいんですわ♡

ほう…そんなりと  
指一本入りましたな。

ああ、それくらいは  
朝飯前ですわ。しっかり  
解しましたさかい♪

や…やめなさいっ!!  
そんな馬鹿な事  
したらう

んんん♡

されたら、どうなるのかな  
ライダーさん♪

そ…それはっ…♡  
ああ…だめ…ダメなんです  
ホントに…だめえ…♡

まあ、突っ込んでみれば  
わかる事ですがなっ！

だ…だめっ…  
ああ♡♡♡

ああ♡♡♡

ああ♡♡♡

うおおおっ!!  
こ…これはっ!!  
い…如何っ…まさか  
これほどの名器とはっ!!

なっ…ナニこれっ…!?♡  
イってるっ!? お尻なのにつ!!  
お尻なんかでええっ!!♡♡

こっ…こんな簡単につ…!?  
ああっ…どっしてええっ!!  
はあああああっ!!♡

ぬううっ…まずいっ!!  
これは、こちらも直ぐに  
…ぐうっ…だ…だめだ

ええいっ…このまま  
中に射精すぞおとお  
おとおおおっ!!

んんん♡

んんんん

あははは

んんんん

んんんん

ああああ

ドクドクドクドク!!!

んんんん

はー

はー

きたっーきたっー!  
キタあああつ♡  
お尻に熱いのっ♡  
きたのおおおつ!!!♡♡

はあああつ♡私の  
お尻の中いっぱいに  
とっ♡特濃汁ーメンツ  
注がれてるっつっつ  
うっつっつっつ!!!♡♡

んんんん!

ドクドク

くうっつ...なんという事だ  
これほどの締めりととはっ!  
長く愉しむつもりが早くも  
イってしまったわいっ!!

仕方ありませんな...  
しかし、それまで正気を  
保ってくださいますかね?

こ...怖いっ...たった  
一度の肛姦であんなに  
あつさりといかされる  
なんて...この人数で  
輪姦されたら

私...一体どうなっつて  
しまうのですか...  
士郎...桜...お願いです  
どうか私に耐える力を...

なあに、彼女は一流の  
英霊ですから。きつと  
耐えてくれますよ。

まあまあ...次も大勢待つて  
おられる事ですし、次週にでも  
たっぷり可愛がってあげれば  
宜しいかと思われませうぞ♪

んんんん







あつ♥アナルつ♥  
アナル調教つ♥  
終わらないいいつ♥  
終わってくれないいいつ♥

ほつ：本気で  
尻穴調教されるうつ!!  
専用尻穴便器に  
されてしまいうつ♥

いやあ、これで  
3日目だというのに  
まだ終わりませんなあ。  
皆さん、張り切りすぎ  
ですぞ。

まあ、この甘い声で  
一晚中啼かれたら  
金玉が空になるまで  
子種を注ぎたく  
なりますわい。

それは同意  
ですなあ。

もう尻穴穿ら  
ないでっ! 突いちや  
だめえええっ!!

おやおやあ?  
英霊様ともあろう  
お方が人間に  
懇願ですか?

まあ、どれだけ  
懇願されようと  
止めませんがね。  
我々の目的は、

貴女を最高の  
尻穴牝馬に育て  
あげる事ですし。

それは出来ない  
相談ですな。  
おつ、また出るっ!!

んんんっ!!

やあああつ!!  
お尻に熱いの  
またきたああつ!!

し：尻穴牝馬...  
い：そんなの...  
許してえ...

はははは  
はははは  
はははは  
はははは

はあああああつ!!  
また...お尻にいいいい  
いいいい!!

ああつ...腰が...腰がっ  
勝手に動くうううつ!!  
私の身体じやない  
みたいにいっ!!

男達の精液をドンドン  
搾り取っていくううつ  
子種注ぎ込まれるつ  
お腹いっぱいになるう  
うううつ——つ!!

だ...だめつ...もう許してつ  
ああつ...どうしてつ!!  
お尻はっかりいいつ!!

あ...らめつ

あ...らめつ...  
いっへるのいっ!!

いっ...いやあああつ!  
あんなにいっばいっ!  
いっばい犯されるなんてつ!!  
だ...だめえつ!! 想像した  
だけで...またイクううつ!!

イクつ!! イってるつ!!  
イってるのに...まだイクうつ  
イクのつ...だめなのおおつ

お尻っ...バカになるつ!  
なるつ! なってるううつ  
はああつ...らめえつ!!

イクのつ...止まらないいっ!  
止まらないのつ...ダメなのおつ  
アナルでイクまくてるつ!!  
ケツ穴穿られまくるのつ...  
堪らないのおほおおおつ!!

おおつ、確かに  
コレはイイつ!!

さあさあつ、まだまだ  
次が控えていますよ、  
ライダーさんっ!

あーっ♡♡  
あーっ♡♡

いっ♡イイっ♡

あっ♡

お尻っ♡あっ♡  
熱いっ♡いんっ♡

いん♡

ケツ穴千んポ凄いのお♡  
たっ♡たまらないのおおっ!!♡

ああっ!!♡またイクっ!  
イキますっ! イッて  
しまいますっっっ!!♡

だっ♡だめええええっ♡  
気持ちよくならないでっ♡  
こんな尻穴一つで♡  
私っ♡私じゃなくなっ♡  
イクっ♡ううっ♡んっ♡

はっ♡  
はっ♡

どうやら、ライダーさんも  
随分と熟れてきたようですね。  
これで30人目ですか?

これだけの数を相手  
しているのに、ガバガバに  
なるどころか、さらに尻穴の  
締まりが良くなるのは、  
流石英雄姫ですねあゝ

あはっ♡

あはあっ♡

あんっ♡

アナルっ♡アナルSEXに  
ハマるっ♡ハマってしまっっ!!  
ああっ…十郎との性交より  
桜と愛し合うよりもお…  
このほっが…ずっ♡

ずっ♡イイなんてえっ♡  
だめえ…忘れちゃうになる…  
あの家の幸せも…皆の…  
暖かい日々も…せ…全部…  
全部消えてしまっっ♡

はあ...♡  
はあ...♡

フツツ...これは素晴らしい名器ですなあ  
いやはや...もう一度くらい  
味わいたい所ですが...

流石に他の紳士諸君を  
お待たせするわけにも  
参りませんからな。

—一緒っ!?

—一緒ってまさか

では、一緒に愉しむと  
いうのは如何ですかかな?

うおおおっ!!  
こ、こいつは凄いつ!!  
病みつきに  
なりそうだった!!

この尻穴に比べたら  
他の女達など  
カス同然じゃあつ!!

くうううっ、堪らんっ  
堪らんぞおおおっ!!  
何の心配も要らんっ!!

ライダーっ、君はこれから  
僕等の性奴として  
死ぬまで可愛がって  
やるぞおおおっ!!

あああああ!!

ほれほれ、ライダーさん特製の尻穴パケツはここですぞ。

おっと。また外してしまった。案外難しいなあ。

おやおや、またザーメンが溢れてきましたな。

仕方ない、皆さんで、また、たっぷりと注いでやりますか。

ピュルル

ピュルル!!

ぽっ♡

あ♡

あ♡あ♡

あ♡

あ♡

あ♡あ♡

あ♡

あああつ...  
もつ♡もつ...  
お尻に...精液  
注がないれえ...

おっ♡...おまんこ  
もう限界なのお...  
あ♡熱くて切ないの  
止まらなくなつて  
しまうからあ...

いけませんぞ、まだ  
早いですからな。  
おまんこに注ぐのは。

アナルに息を  
吹いたら、即、  
絶頂するくらい  
ライダーさんの  
尻穴を満足させて  
からでないよ

そ...そんなの  
そんなのは  
ためえ...

これで、ようやく  
2周目ですか。  
次はじっくりと  
可愛がつてやらねば  
いけませんなあ。

もう...入らない...  
このまま...じゃ  
わ...私の尻穴あ...

ざ...  
ざーめんたんに  
されてしま...う...  
んくう...ふう♡

む...無理い...  
もう...ゆ...  
ゆるひてえ...

それから何時間が過ぎたのか、  
いくら懇願しようが、泣きわめこうが、  
私の尻穴から肉棒が抜かれることはなく、  
ひたすらに入れ代わりつつ  
わたしの躰は貪り続けられていた。

そして、全てを諦めたとき、強烈に己の子宮が  
戦慄きはじめた。「種の存続」。生命ある物なら  
当然の情動であり、必然の行為である。

それはかつて神の座に位置していた、  
私、メデューサとして女である以上逃れられぬ本能であり、  
それ故に、その情欲に逆らうことなどできる  
はずもなかった。しかしそれでも男共はただひたすらに  
尻穴のみを犯し続けた。

息を吸うように、飯を食うように、  
それが当然であるかのように犯され続けた。

——そして、私は。

桜のサーヴァントであることを捨てた——

さあ、ライダーはん。  
ちやんとご挨拶できたら  
ご褒美あげるさかい。  
案の定、気張ってや。

ち…ちなみにつ♡今日は  
特別な事で…英霊なの…  
危険日だからるので…きつと  
孕(じ)ちやうと思ひますつ♡

私…それを考えただけで…  
妊娠像したただけでえ…  
い…いつ♡イキそうにつ  
なってるんですつ♡

は…はい…

わ…私つ…メテューサを  
皆様の尻穴牝奴隷として  
仕上げていただいて  
感激の極みに御座います

それは…このメテューサの  
牝穴マ〇コを…みつ♡  
皆様の極上オチンポで…  
ハメ倒して貰う事ですつ♡

だつ…だからあつ!!  
早くつ!早くつ!!  
私のこころ!! 滅茶苦茶に  
してええええええつ♡

そ…その…ナナやかな  
お礼として…私から  
プレゼントをお返し  
したいと思ひます…♡

大変よく出来ましたよ、  
牝馬ライダーさん。

この航海が終わる頃には  
何人の母親になるのか…  
非常に愉しみだね。

あ…♡

はあ♡



——桜……、士郎……、

私は今、幸せです——

-あとがき- & 奥付

この度は「姫騎兵の淫猥なる日々-牝色-」オフセット版をご購入いただき有難うございます。

初めましての方もおなじみの方もどうもありがとうございます。  
B-RIVERです。

すでに知っている方も居られるかと思いますが、一応、注釈を。  
この本は以前、出した「姫騎兵の淫猥なる日々+」のフルカラー版になります。  
元ネタの本筋は「我チ〇コ書房」の「狐蛮屋こぼん」さんが描いた  
「寝取ラレタ姫騎兵」でして、この話はそのIFストーリーとなっております。

なので展開やキャラの性格は本筋とは違ってますがご容赦下さいませ。

もし、以前の本をお持ちの方がいらしたら、台詞回しや多少、線画とか  
違ってるところがありますので見比べてみると少し面白いかもですw  
(男連中の数とかライダーさんのエロ台詞とか)  
それと、3ページ分ほどですが、書き下ろしページが増えてたりします。  
当初は書下ろしとか無理かと思ってましたが、なんとかなるものですね；w

これの続編の「続・姫騎兵の淫猥なる日々」のほうもできればフルカラー化  
したいなあとは考えてますー。いつになるかはちょっと不明ですが；

あと、これまた宣伝になってしまいますが。商業のANGEL倶楽部にて  
不定期掲載ですが、最近描かせていただいていますので、こちらも良ければ  
読んでみてもらえるとありがたいですー。  
(来年か再来年には単行本出せるようにしたいと思っていますので；w)

とりあえず、次ページでボツ表紙のライダーさんにぶっ掛けてみて  
今回の締めにしたいと思いますw では、今回はこの辺でー♪

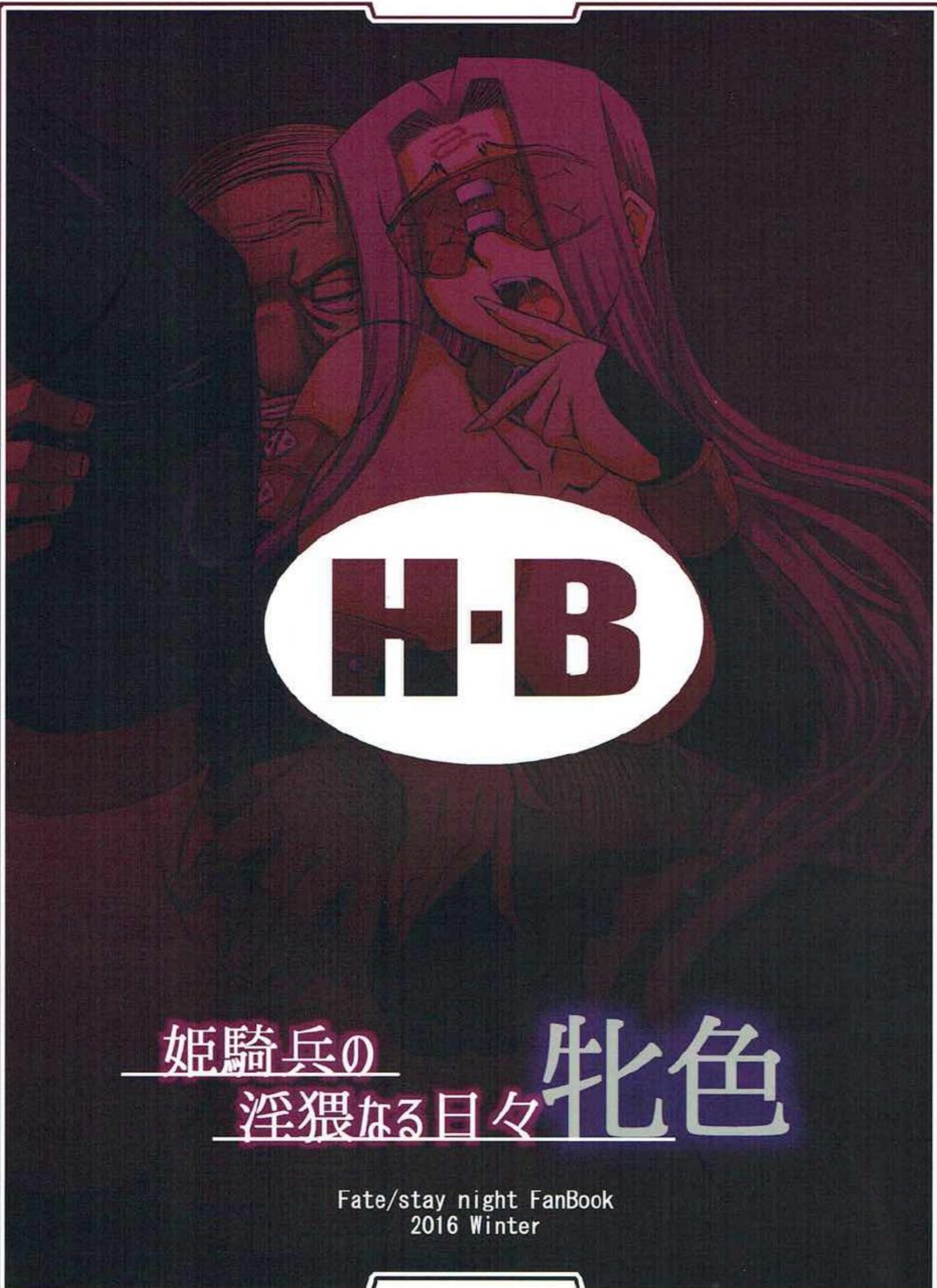
奥付：「姫騎兵の淫猥なる日々 -牝色-」  
発行：H・B 発行人：B-RIVER 初版：2016/12/31

mail: hb\_river@yahoo.co.jp  
HP: <http://www.palette-e.com/>

本作品の無断転載(ネット含む)及び未成年者への購読・閲覧を禁じます。

印刷： **SUN GROUP**  
<http://www.sungroup.co.jp/>





**H·B**

姫騎士の **牝色**  
淫猥なる日々

Fate/stay night FanBook  
2016 Winter